

## 【質疑応答要旨】

- 【記者】 小牧山城の復元プロジェクトについて、今年度工事する第5工区の工期を知りたい。また、各工区が完成し次第、順次公開していくということだが、第5工区の公開はいつ可能になるか。
- 【市】 工期は令和4年3月中旬から下旬を予定している。公開時期は第5工区が終了してから、第1工区の工事に入る令和4年度初秋ごろまでとなる。
- 【記者】 裏込石を入れるのは第5工区のみなのか。
- 【市】 全ての工区に入れる。
- 【記者】 復元工事について、本物の石垣が残っているところも石を一旦外に出し、裏込石を入れて、またその本物の石垣を戻すということか。
- 【市】 本物の石垣が残っているところはそれを生かし、壊さず残す。その今残っている石垣の最上段に合わせた形で、欠落した部分などを新しい石で復元する。
- 【記者】 第5工区はいつ発掘したものか。そのときに石垣などが見つかったのか。
- 【市】 平成27年度の調査であり、その時に見つかった石垣を埋め戻して保護していたが、これを復元しようというものである。
- 【記者】 こまき山のLINEスタンプについて、1個あたり120円で販売するということだが、その収益はどう使うのか。
- 【市】 1個売れるとそのまま収入が上がるというわけではなく、LINE側に天引きされる部分と、アップルやグーグルの決済手数料があり、実質約30円の収入とかなり少額にはなる。売上げを目的とするよりも、LINEスタンプを配信することによって、より多くの人に友だち登録していただくこと目的としている。収益は今のところ通常の収入として受ける予定である。特に目標額を定めているわけではなく、より多くの人に気軽に使っただけ、その効果として多くの人々が新たに市公式LINEの友だち登録をしていただければと考えている。
- 【記者】 スタンプの配信にはどのくらいコストがかかるのか。

【 市 】 有料販売の場合、LINE側への支払いは発生しない。スタンプ自体も職員がパソコンのイラスト専用ソフト作ったものであり、初期投資も全くかかっていない。